

ホームページのリニューアル

国立がん研究センター
中央病院 放射線診断科 / 企画戦略局 広報企画室
渡辺 裕一

国立がん研究センターは2つの病院を含め6つの部門から構成される組織体です。中央病院、東病院、研究所、先端医療開発センター、社会と健康研究センター、がん対策情報センターから成り、東京の築地キャンパスと千葉の柏キャンパスにて活動しています。

広報企画室は理事長直属の企画戦略局に属し、この6部門から構成される当センターの幅広い活動を、患者・家族、メディア関係者をはじめとする方々に広報をしております。外部広報として、ホームページの管理運営、プレスリリースの配信、年次報告書（日本語・英語）の取りまとめ、広報誌の発行、日々の取材対応、記者会見のサポート、イベント・セミナーの開催支援、患者・家族意見交換会の開催支援などがあります。加えて、職員向けの内部広報も行っています。

毎週、東京の築地キャンパスと千葉の柏キャンパスをつないだテレビ会議を実施し、両キャンパスにある広報企画室が連携して活動を行っています。これらの業務を遂行するために、メールの数は一日数百件！最近はこの量にだいたい慣れてきたものの、今年の1月に広報企画室長の兼務を拝命した当初は本当に驚愕いたしました（ちなみに、私の本務は中央病院放射線診断科にてCT/MRI/PETなどを使った画像診断を行うことです）。

当センターのホームページ、10月1日にリニューアルされました。ホームページの管理運営は広報企画室の主業務の一つであり、取り分け、今回のリニューアルは重要なミッションでした。携帯電話もガラケーで、ITリテラシーに乏しい私ですが、当センターで初めてとなるこの大改修にひよんなことから向き合うことになりました。

当センターは6部門に渡る比較的大きな組織です

ので、全体の進捗共有や部門間の調整を要し、結果的に会議の連続でした。6部門から委員を選出いただき、公式ホームページリニューアル検討委員会が立ち上がりました。月1回ペースで、合計10回程度開催しました。部門毎でもワーキンググループが複数回に開催され、職員のみなさまには多大なご尽力をいただきました。広報企画室と関係者の事務局会議、特に追い込みの8月下旬以降からリニューアル直後の10月初旬にかけては毎日の参集となりました。

今回のリニューアルには以下のような目的があります。センター職員のご協力により、無事、これらの目的は達成されました。

【高齢者や障がい者などを含め、誰もが利用しやすいホームページ】

総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン」にて、公共機関のホームページに高いアクセシビリティを確保することが求められています。

【CMS (contents management system) の導入】

従来、ホームページを更新したい職員は、専門部署に作業依頼をするしか方法がありませんでした。CMS導入で、センター職員自らがホームページを簡単に更新できる方法が追加されました。センターの情報発信力の強化を図れます。

【スマートフォンへの対応】

今や半分以上の方が、ホームページを、スマートフォン、タブレットなどで閲覧しています。スマホに対応した表示、レスポンスデザインは必須です。

【新しいデザイン】

リニューアル前の6部門のホームページは、それぞれデザインが異なり統一感がありませんでした。デザインの刷新を行い、全体の統一感を持たせた新しいページデザインとなりました。

【英語ページの充実】

海外（患者さん、製薬企業、メディア、等）に向けた情報発信を強化することが国立がん研究センターに求められており、英語ページを従来よりも充実させました。

【ホームページの安定稼働】

サーバーを東日本と西日本の二つの外部サーバーへ移設を行い、自然災害などが起こっても他方のサーバーで稼働し続ける頑強性を確保しました。

リニューアルされたホームページ、百聞は一見に如かず、です。是非一度、当センターのホームページ (<https://www.ncc.go.jp>) を訪れていただくと幸いです。